

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年12月23日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690200102
法人名	特定非営利活動法人 こしき風林火山
事業所名	グループホーム 多喜人
所在地	鹿児島県薩摩川内市里町里470番地 (電話) 09969-3-2127
自己評価作成日	令和元年11月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和元年12月5日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

薩摩半島西方にある甕島・里町。その里町の中でも有名な観光名所である武家屋敷通りに当施設がある。平成19年11月に開設し、13年目を迎える。  
地域特性上、近隣住民は昔からの知り合いが多く、一歩外に出れば近隣住民との会話が弾む。野菜等をいただくことも多く、住み慣れた地域の中で生活できている実感を持てる。利用者の孤立感も軽減できていると思う。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、旧里村の静かな集落の武家屋敷通りに建てられている。施設長が自治会役員を引き受けており、地域行事の運動会・相撲大会に参加したり、散歩・買い物等で挨拶を交わすなど、日頃から近隣住民と親しく交流している。
- ・運営推進会議に行政・自治会役員・民生委員・家族以外にも消防団員や駐在所警官の参加もあり、様々な立場からの意見等を活かして事業所運営に当たっている。
- ・島内居住の家族に毎月訪問して、家族からの要望等を細かに聞き取り、サービス向上に活かせるよう努めている。
- ・島外の研修参加の機会が限られる為、施設長は、所内研修の計画的実施や講師を職員に務めてもらう等、職員自身のやる気と向上心を意識づけ、職員の質の確保及びサービス向上に繋げられるよう取り組んでいる。調理担当職員の配置や外国人の実習生受け入れ等で職員の負担軽減とケアの確保に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	施設内で最も目につく場所に掲示することで、共有しやすい環境を整備している。	地域密着型サービスに見直した理念をリビングに掲示し、毎月、職員会議でケアを振り返り理念を共有し実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	当該自治会に加入し、地域の情報を把握し、地域行事にも可能な限り参加している。	自治会に加入し、地域行事の運動会や相撲大会に参加しており、中学生の職場体験を受け入れている。散歩・買い物等で住民と会話を交わしたり、住民から野菜・果物の差し入れがある等、住民と普段から交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域への支援は十分ではないが、職員それぞれが必要に応じておこなっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員も殆どが馴染みであり、利用者のことをよく理解されているため、会議がしやすく、自分の家族のように考えていただいている。	2ヶ月に1回の運営推進会議を開催し、事業所のヒヤリハットを含めた状況報告と意見交換を実施している。多彩な参加者からの情報を得たり、個々の利用者への対応を通して事業所への理解を深めてもらう機会となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	薩摩川内市役所里支所が近所であり、各種申請等伺う機会が多く、情報交換しやすい環境にある。	支所の職員と運営推進会議時の意見交換や電話・メール・出向いての報告や相談で連携を図っており、生活保護担当者とも同様である。市主催の離島に係る意見交換会に参加する等、情報交換や協力関係を築くように努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体的拘束適正化検討委員会を設置し、身体拘束を絶対おこなわないケアに取り組んでいる。また、身体拘束の内容を正しく理解することも随時おこなっている。	指針を基に委員会を3ヶ月に1回、研修会は必要時に実施し、声の強弱・トーン等を含めた不適切な言葉遣いについて研鑽している。昼玄関の施錠はせず、外に出たい利用者には一緒に散歩をする等で対応し、制限のない生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止委員会を設置し、虐待を絶対におこなわないケアに取り組んでいる。また、虐待の内容を正しく理解することも随時おこなっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護や成年後見制度に取り組む事例が現在のところ殆どなく、学ぶ機会も少ない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所申込み時は原則本人及びご家族に来園いただき、施設見学や重要事項等説明後記入していただく。入所時にも再度重要事項説明をおこなったうえで契約している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>職員会議や朝礼、その他随時意見交換おこなっている。</p>	<p>利用者には、日常会話の中で要望等を聞いている。家族には、運営推進会議や自宅訪問・面会時に意見や要望等を聞いており、更衣の希望等が出され、要望にはその都度対応している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>運営推進会議や随時自宅訪問、電話連絡やメール等で確認するようにしている。</p>	<p>施設長は、毎月1回の職員会議で意見・提案等を聞く機会を設けており、備品購入やケアの統一に反映できるよう努めている。個別相談は、施設長及び副施設長が受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>業務に対する姿勢等を評価し、賞与にて反映するようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>立地等の問題により外部研修の機会が少ないため、施設内研修を多くおこなうようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修があった際には同業者との交流を図るようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前訪問が重要であると考え、コミュニケーション等により環境変化や精神的変化の緩和につとめるようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所申込時より継続的に関わり、入所前の自宅訪問や入所後の訪問、電話連絡等で情報収集につとめ、環境整備に配慮している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入所申込み時、必要に応じてその他のサービスの説明も併せておこなっている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者の生活リズムが職員の都合で左右されないように注意している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族への状況報告は随時おこなっている。毎月文書による報告や、電話連絡等おこなっている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	私物購入や理美容等本人の希望がある場合は可能な限り対応している。	家族等の面会時には、居室でお茶を飲みゆっくりしてもらっており、家族と外食・ドライブに行ったり、馴染みの理美容室を利用する等、これまでの生活や関係を継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者が自室に閉じこもりにならないよう、茶話会やレクリエーション等交流の機会を多く設けるよう配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後の状態確認、面会等は随時おこなっている。また、ご家族との関係も継続するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎日のコミュニケーションの中で本人の希望や意向を確認、情報共有し、利用者本位につとめている。	日常の会話の中で、本人の思いを把握するよう努めており、特にお茶の時間や夜勤帯などで聞き取っている。意思疎通が困難な場合も、これまでの生活や関係の中から推測し、思いを汲み取るようにしており、職員間で情報を共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の事前訪問を重要視しており、入所までの関わりを通して環境整備に反映している。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	現状を確実に把握、理解し、利用者の生活リズムの把握につとめている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議や朝礼等で各利用者の状況や変化等を情報共有している。	担当者会議で本人・家族・医師・職員が検討し、職員会議での意見を加えて介護計画を作成している。モニタリングを毎月実施し、見直しは年1回行っている。状況変化等の必要時に計画を見直している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別記録を作成、記入し、情報共有を図るとともに、職員間での申し送り帳を作成、共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者本位の立場となり、利用者の意向が出来る限り反映できるよう配慮している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域とのつながりを大切にし、地域行事への参加等おこなっている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所前のかかりつけ医を原則継続し、定期往診等おこなっている。また、体調変化時の受診も施設にて対応している。</p>	<p>全員が、入居前からのかかりつけ医の定期往診を利用している。緊急時は、かかりつけ医の指示を受けて薩摩川内市へ搬送する等、適切な医療が受けられるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	他職種協働により、主治医との連携を図っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	利用者の入院は本土医療機関であることが多い。入院後は入院医療機関との密な連携、随時の面会等を通し、退院時のスムーズな受け入れ等に配慮している。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	利用者・ご家族の意向を随時確認するようつとめている。	契約時に重度化等の対応について、選択肢も併せて説明しており、特別養護老人ホームの申込をしている利用者も多い。状況変化時に、家族と施設長が同席して医師の説明を受け、家族の意向を確認している。看取り介護の実績がある。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急時マニュアル等により、適切に対応できるよう、随時確認している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な避難訓練やその他不定期におこなわれる行政の訓練等にも可能な場合は参加するようにしている。</p>	<p>年2回の避難訓練を、消防署の協力を得て昼夜想定で実施しており、消防団の参加協力もある。非常用の備蓄は、水・カップラーメン・乾パンなどの食料やカセットコンロを準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員と利用者・ご家族が昔からの知り合いという場合が多く、そのことにより利用者・ご家族と馴れ合いになってしまわぬよう、随時確認している。	接遇研修を実施し、自分に置き換えての支援を考え、話し合いながら対応している。さん付けでの呼びかけ、入浴・排泄介助時の羞恥心への配慮等に取り組んでいる。申し送りは利用者聞こえない場所で行い、プライバシーの確保をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の意向や希望を確実に把握できるようなコミュニケーションをおこなうようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムを把握し、その生活リズムを守れるように配慮している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自己決定が困難な利用者は、職員が確認しながらおこなっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者全員が食事は楽しみにしている。地元の食材を多く使用し、家庭的な料理を食べていただけよう配慮している。	調理担当職員を配置し、旬の物を調理し、一口大に切る程度で提供している。利用者も片付けを一緒にしている。季節の行事食や誕生日のケーキ等、季節感や食べる楽しみを味わってもらえるような工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	記録表を作成し、食事・水分摂取量を確実に記録・共有している。医療機関やご家族への報告等にも活用している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	全利用者毎食後の口腔ケアをおこなひ、記録している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を作成、記録し、利用者の排泄パターンを把握につとめながら、トイレ誘導等おこなっている。	排泄チェック表で個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導等で昼間はトイレでの排泄を基本に支援している。経済面にも配慮した排泄用品を適切に使用し検討している。夜間は身体状況等にも応じてポータブルトイレの利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	なるべく緩下剤を使用しないケアにつとめている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は設けず、利用者の状況に合わせて入浴できる配慮をおこなっている。	週2回以上の入浴を、好きな時に入ってもらえるようにしている。体調により清拭をしたり、シャワー浴・陰洗で保清に努め、必要時は2人介助・同性介助を実施している。入浴を拒む場合も無理強いせず声掛けを工夫して取組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	精神面での安定やコミュニケーション等により不安軽減を図り、なるべく安眠できるよう対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理表を作成しており、種類や効能を記載し、服薬チェックをおこなっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外出希望時の柔軟な対応や、日々のレクリエーションの実施、ドライブ等、気分転換への配慮をおこなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>馴染みの商店での私物購入や理美容店、自宅訪問等可能な限り本人の希望に沿えるように配慮している。</p>	<p>気候が良い日は、毎日近隣を散歩している。希望を聞き買い物や自宅訪問・理美容室に出かけたり、花見のドライブ等の個別対応をしている。家族と自宅訪問やドライブ・外食等に出かける利用者もあり、できるだけ出かけられるよう支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お小遣い程度のお金を管理している利用者がおられ、私物購入等おこなっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話や手紙等、利用者の希望に沿うよう対応している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>「匂い」を重視しており、毎日の清掃に取り組んでいる。また、季節感を感じられる装飾品等配慮するようにしている。</p>	<p>日々の清掃や週1回の大掃除で、不快な臭いも無く清潔な室内である。採光や空調は適度に調節し、季節感のある作品や飾り付けをしている。家具を少なくして、動きやすい広さを確保し、利用者が安全に居心地良く過ごせるよう工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファやテーブル等設置し、交流の場を多く提供できるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室にはなるべく慣れ親しんだ物が使用できるよう配慮している。また、希望者には畳敷きも対応している。</p>	<p>ベッドやダンス・エアコンのある居室に、本人の好みや必要に応じてテレビやラジオ・洋服ハンガー・洋服入れなどの家具を持ち込んだり、時計・写真を飾って落ち着いて過ごせるようにしている。畳の部屋もある。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>施設内は全てバリアフリーとなっており、移動がスムーズに安全におこなえるようになっている。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない